

1.	③	11.	①	21.	④	31.	①	41.	③
2.	④	12.	①	22.	③	32.	②	42.	②
3.	②	13.	④	23.	②	33.	③	43.	②
4.	③	14.	②	24.	④	34.	②	44.	②
5.	②	15.	①	25.	④	35.	②	45.	④
6.	④	16.	③	26.	④	36.	④	46.	④
7.	③	17.	①	27.	②	37.	④	47.	④
8.	①	18.	②	28.	③	38.	②	48.	④
9.	②	19.	①	29.	④	39.	①	49.	①
10.	①	20.	③	30.	①	40.	①	50.	②

1.

解答 ③

【解説】

正解は③「研究者」です。`researcher`は、特定の分野について、専門的な研究や調査を行う人を指す名詞です。`Many researchers are working to find a cure for the disease.`(多くの研究者がその病気の治療法を見つけるために研究に取り組んでいる)。①「資源」は`resource`、②「報告者、記者」は`reporter`、④「審査員、批評家」は`reviewer`です。

◆補足：`researcher`は、動詞`research`（研究する）に、人を表す接尾辞`-er`が付いてできた単語です。同じように`-er`が付く職業名には`teacher`（先生）、`singer`（歌手）、`writer`（作家）など、数多くあります。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④の`trend`で、「傾向、動向、流行」を意味する名詞です。社会、ファッション、経済、テクノロジーなど、様々な分野における、ある方向への一般的な変化や動きを指します。`Working from home is a growing trend.`(在宅勤務は広まりつつある傾向だ)。他の選択肢は、①`brand`が「ブランド、銘柄」、②`trade`が「貿易、取引」、③`friend`が「友達」という意味です。

◆補足：形容詞形は`trendy`で、「流行の、流行に敏感な」という意味になります。`She always wears trendy clothes.`(彼女はいつも流行の服を着ている)。コロケーションとしては、`the latest trend`（最新の流行）や`follow a trend`（流行を追う）などがあります。

3.

解答 ②

【解説】

正解は②「野菜」です。`vegetable`は、食事として食べられる草本植物を指す一般的な名詞です。

`Doctors recommend eating at least five portions of fruit and vegetables a day.`（医者は1日に少なくとも5皿分の果物と野菜を食べることを推奨している）。①「果物」は`fruit`、③「穀物」は`grain`、④「乳製品」は`dairy product`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`vegetable`は通常、数えられる名詞として扱われます。`What kind of vegetables do you like?`（どんな種類の野菜が好きですか?）。形容詞形は`vegetarian`で、「菜食主義の」という意味です。菜食主義者のことは`a vegetarian`と言います。

4.

解答 ③

【解説】

正解は③「特売で、売り出し中で」です。`on sale`は、商品が通常よりも安い価格で売られている状態を表す熟語です。`I bought these shoes on sale.`（私はこの靴をセールで買った）。①「販売中で」は`for sale`と言います。`This painting is not for sale.`（この絵は売り物ではありません）。②「在庫切れで」は`out of stock`、④「注文に応じて」は`on demand`が適切な表現です。

◆補足：`on sale`と`for sale`は非常に紛らわしいですが、`on sale`は「割引価格で」、`for sale`は「売り物として」と覚えておきましょう。特にアメリカ英語ではこの区別が明確です。イギリス英語では`on sale`が「販売中」を意味することもあります。文脈で判断が必要です。

5.

解答 ②

【解説】

正解は②「汚染、公害」です。`pollution`は、空気、水、土などが、化学物質や廃棄物といった有害なものによって汚されることを指す名詞です。`The government is trying to reduce air pollution.`（政府は大気汚染を削減しようと努めている）。①「人口」は`population`、③「位置」は`position`、④「部分」は`portion`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`pollution`の動詞形は`pollute`（～を汚染する）です。`The factory polluted the river with its waste.`（その工場は廃棄物で川を汚染した）。コロケーションとしては、`air pollution`（大気汚染）、`water pollution`（水質汚染）、`noise pollution`（騒音公害）、`light pollution`（光害）などがあります。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④「間違い、誤り」です。`mistake`は、計算、判断、行動、スペルなどにおける誤りを指す名詞です。`I made a simple mistake on the math test.`（私は数学のテストで簡単な間違いをした）。①「霧」は`mist`、②「謎」は`mystery`、③「混合物」は`mixture`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`make a mistake`で「間違いを犯す」という決まった言い方になります。動詞の`mistake`は`mistake A for B`の形で「AをBと間違える」という意味で使われます。`Sorry, I mistook you for someone else.`（すみません、あなたを別の人と間違えました）。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③の`pleasant`で、「心地よい、楽しい、感じの良い」という意味の形容詞です。人や物事、経験、天候などが、人に喜びや満足感を与える様子を表します。`We spent a pleasant afternoon walking in the park.`（私たちは公園を散歩して楽しい午後を過ごした）。他の選択肢は、①`present`が「現在の」や名詞で「贈り物」、②`peasant`が歴史的な文脈で「小作農」、④`precious`が「貴重な、高価な」という意味です。

◆補足：`pleasant`は動詞`please`（～を喜ばせる）の派生語です。`This music is pleasing to the ear.`（この音楽は耳に心地よい）。`pleasant`の対義語は、否定の接頭辞`un-`を付けた`unpleasant`（不快な）です。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①「～の向かい側に」です。`across from`～`は、道や川、部屋などを挟んで、何かの「真向かいに」位置していることを示す前置詞句です。`The post office is located directly across from the train station.`（郵便局は駅の真向かいに位置している）。②「～の隣に」は`next to`～`、③「～の後ろに」は`behind`～`、④「～の間に」は`between`～`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`across from`は`opposite`という前置詞とほぼ同じ意味で使うことができます。`The hotel is opposite the park.`（そのホテルは公園の向かい側にある）。どちらの表現も、場所や位置関係を説明する際に非常に役立ちます。

9.

解答 ②

【解説】

正解は②の`health`で、心身の「健康、健康状態」を意味する名詞です。病気ではない、健やかな状態を指します。`Mental health is just as important as physical health.`（精神の健康は、身体の健康と同じくらい重要だ）。他の選択肢は、①`wealth`が「富、財産」、③`growth`が「成長」、④`breath`が「息、呼吸」という意味です。これらの単語は、特にリスニングにおいて混同しやすいので、発音の違いをしっかりと意識することが大切です。

◆補足：形容詞形は`healthy`（健康な、健康によい）です。`a healthy diet`（健康的な食事）。コロケーションとしては、`health care`（医療）、`health insurance`（健康保険）、`in good health`（健康で）などがあります。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「要求、需要」です。名詞の`demand`は、主に「(強く求める) 要求、請求」と、経済用語としての「需要」という二つの意味を持ちます。`The company could not meet the workers' demands.`（会社は労働者たちの要求に応えることができなかった）。`There is a growing demand for skilled workers.`（熟練労働者への需要が高まっている）。②「供給」は`supply`で、`demand`とは対になる経済用語です。③「命令」は`command`、④「議論」は`discussion`です。

◆補足：`demand`は動詞として「～を（当然の権利として強く）要求する」という意味でも使われます。`The customers demanded a full refund.`（客たちは全額返金を要求した）。`in demand`で「需要がある、人気がある」という熟語になります。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を捨てる」です。`throw ~ away`は、「～を（不要なものとして）捨てる、処分する」という意味の句動詞です。`throw`だけでは単に「投げる」という意味ですが、`away`（向こうへ）が付くことで「捨て去る」というニュアンスが加わります。`Please don't throw away empty cans on the street.`（通りに空き缶を捨てないでください）。②「～を拾う」は`pick up ~`、③「～を片付ける」は`put away ~`、④「～を投げる」は`throw ~`です。

◆補足：目的語が`it`や`them`のような代名詞の場合は、`throw it away`のように、動詞と副詞の間に置くのがルールです。比喩的に「(機会など) を無駄にする、ふいにする」という意味でも使われます。`It was a great chance, but he threw it away.`（それは絶好の機会だったが、彼はそれをふいにした）。

12.

解答 ①

【解説】

正解は①「供給業者」です。`supplier`は、企業などに商品やサービス、原材料などを提供する「供給業者、納入業者」を意味する名詞です。`We have a contract with a reliable supplier.`（私たちは信頼できる供給業者と契約している）。②「消費者」は`consumer`、③「支援者」は`supporter`、④「生存者」は`survivor`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`supplier`は動詞`supply`（～を供給する）に、人を表す接尾辞`-er`が付いてできた単語です。`supply and demand`（供給と需要）は経済の基本用語として非常に重要です。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④「中古の、間接的な」です。形容詞の`secondhand`は、主に二つの意味があります。一つは、物が新品ではなく、誰かが一度所有していた「中古の、お古の」という意味です。`I often buy secondhand books online.`（私はよくオンラインで古本を買う）。もう一つは、情報などが直接見聞きしたものではなく、「間接的な、また聞きの」という意味です。`I wouldn't trust secondhand information.`（また聞きの情報は信用しないだろう）。①「二番目の」は`second`、②「二流の、質の悪い」は`second-rate`、③「両手の」は`two-handed`です。

◆補足：`secondhand`は副詞としても使われ、「中古で、間接的に」という意味になります。`I bought this camera secondhand.`（私はこのカメラを中古で買った）。`secondhand smoke`は「受動喫煙」を意味する重要な複合語です。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②の`exact`で、「正確な、厳密な、まさにその」という意味の形容詞です。誤りやずれが全くなく、完全に正しいことを示します。`Could you tell me the exact time of his arrival?`（彼の正確な到着時刻を教えてくださいませんか？）。他の選択肢は、①`extra`が「追加の」、③`except`が前置詞で「～を除いて」、④`expert`が名詞で「専門家」という意味です。

◆補足：副詞形は`exactly`（正確に、まさしく）で、会話の相づちとして`Exactly!`（その通り!）と単独で使われることも非常に多いです。`accurate`も「正確な」と訳されますが、`accurate`が測定値や情報が事実に近いことを指すのに対し、`exact`は寸分たがわない完全な一致を強調します。

15.

解答 ①

【解説】

正解は①「燃料」です。`fuel`は、エンジンを動かしたり、熱を発生させたりするためのエネルギー源となる物質を指す名詞です。ガソリン、石油、石炭、ガス、薪などが含まれます。`We are running out of fuel.`（燃料がなくなりかけている）。②「未来」は`future`、③「食べ物」は`food`、④「霧」は`fog`が適切な単語です。

◆補足：`fuel`は動詞として「～に燃料を補給する」や、比喩的に「(感情や議論など)をあおる、助長する」という意味でも使われます。`His angry words only fueled the argument.`（彼の怒りに満ちた言葉は、議論を煽るだけだった）。`fossil fuels`（化石燃料）は環境問題の文脈で頻出する重要な複合語です。

16.

解答 ③

【解説】

正解は③「速く、素早く」です。`quickly`は副詞で、短い時間で動作が行われる様子を表します。`Time passes so quickly when you are having fun.`（楽しんでいる時は、時間がとても速く過ぎる）。

①「静かに」は`quietly`、②「かなり」は`quite`、④「静かな」は形容詞の`quiet`です。これらはつづりや発音が似ているため、混同しやすい単語の代表例です。

◆補足：`quickly`と`fast`はどちらも「速く」と訳せますが、ニュアンスに違いがあります。`fast`が「(移動などの)速度が速い」ことを指すのに対し、`quickly`は「(動作にかかる)時間が短い」ことに焦点を当てます。`He runs fast.`（彼は走るのが速い）。`He eats quickly.`（彼は食べるのが速い）。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「実に、本当に」です。`indeed`は副詞で、前の文の内容や発言を強く肯定したり、強調したりする際に使われます。`very`を使った形容詞や副詞の後に置いて、さらに強調する用法がよく見られます。`It was a very impressive performance indeed.`（実に感動的な演技だった）。②「その代わりに」は`instead`、③「屋内に」は`indoors`、④「親切に」は`kindly`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`A: It's cold today. B: Yes, indeed.`（A: 今日は寒いですね。B: ええ、本当に）のように、相手の発言に強く同意を示す返事として使われます。また、`Thank you very much indeed.`は「本当にどうもありがとうございます」という、非常に丁寧で心のこもった感謝の表現になります。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②の`advertisement`で、「広告、宣伝」を意味します。商品やサービス、求人などを広く知らせるための、テレビCM、新聞・雑誌広告、インターネット広告などを指します。`Many people are influenced by advertisements.`（多くの人が広告に影響される）。他の選択肢は、①`advice`が「助言」、③`advantage`が「利点、有利な点」、④`adventure`が「冒険」という意味です。

◆補足：`advertisement`はしばしば`ad`（米）や`advert`（英）と略されます。動詞形は`advertise`（～を広告する）です。`advertising company`で「広告代理店」となります。

19.

解答 ①

【解説】

正解は①「パン屋」です。`bakery`は、パンやケーキ、クッキー、ペストリーなどを焼き、販売する店を意味します。`The aroma from the bakery makes me feel hungry.`（そのパン屋からの香ばしい匂いは、私をお腹がすいた気分させる）。②「肉屋」は`butcher's`、③「魚屋」は`fish market`や`fishmonger's`、④「八百屋」は`greengrocer's`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`bakery`は動詞`bake`（（パンなど）を焼く）から派生した言葉です。`-ery`は「～を売る店」や「～を作る場所」を表す接尾辞で、`grocery`（食料雑貨店）や`winery`（ワイン醸造所）などにも見られます。パンを焼く職人は`baker`です。

20.

解答 ③

【解説】

正解は③の`prepare`で、「～の準備をする、～を用意する」という意味の動詞です。食事、旅行、試験、プレゼンテーションなどのために、前もって必要な物や事を整えることを表します。`I need to prepare a speech for the conference.`（私はその会議のためにスピーチを準備する必要がある）。他の選択肢は、①`repair`が「～を修理する」、②`compare`が「～を比較する」、④`prefer`が「～の方を好む」という意味です。

◆補足：名詞形は`preparation`（準備）です。`Preparation is the key to success.`（準備が成功の鍵だ）。`prepare for`～で「～の準備をする」という形でよく使われます。`She is preparing for her final exams.`（彼女は期末試験の準備をしている）。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④「デザート」です。`dessert`は、食事の最後に出される甘い食べ物、例えばケーキ、アイスクリーム、果物などを指します。`For dessert, I'll have the chocolate cake.`（デザートには、チョコレートケーキをいただきます）。①の「砂漠」は`desert`と綴り、`s`が一つでアクセントが前にあります。②の「～を見捨てる」も同じ`desert`という動詞です。③「当然の報い」は`just deserts`という表現で使われる`desert`で、この問題の`dessert`とは異なります。

◆補足：`dessert`（デザート）と`desert`（砂漠）は、スペルと発音が非常に紛らわしいため、英語学習者がよく間違える単語の代表例です。`dessert`は`s`が2つで「ディザート」と後ろを強く、`desert`は`s`が1つで「デザート」と前を強く発音すると覚えておきましょう。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③の`vehicle`で、「(陸上の) 乗り物、車両」を意味します。自動車、バス、トラック、バイクなど、人や物を運ぶための陸上の移動手段全般を指す、ややフォーマルな言葉です。`All vehicles must stop at the red light.`（全ての車両は赤信号で停止しなければならない）。他の選択肢は、①`vessel`が主に「(大型の) 船」や「容器」、②`venture`が「冒険的事業」、④`visual`が形容詞で「視覚の」という意味です。

◆補足：`vehicle`の`h`は発音しない黙字（サイレントレター）で、発音は「ヴィーイクル」に近くなります。コロケーションとしては、`a motor vehicle`（自動車）、`an emergency vehicle`（緊急車両）、`an electric vehicle`（電気自動車）などがあります。

23.

解答 ②

【解説】

正解は②の`flavor`で、食べ物や飲み物の「風味、味」を意味します。`taste`と似ていますが、`flavor`は香りや舌触りなども含めた、口の中全体で感じる複合的な味わいを指すことが多いです。`This yogurt has a rich lemon flavor.`（このヨーグルトは豊かなレモンの風味だ）。他の選択肢は、①`favor`が「親切な行為、支持」、③`fever`が「(病気の) 熱」、④`flour`が「小麦粉」という意味で、発音やスペルが似ているので注意が必要です。

◆補足：イギリス英語では`flavour`と綴るのが一般的です。形容詞形は`flavorful`（風味豊かな）です。`artificial flavors`で「人工香料」となります。

24.

解答 ④

【解説】

正解は④の`contain`で、「～を含んでいる、～が入っている」という意味の動詞です。容器や場所、書物などの「中」に、何かが成分や内容物として含まれていることを表します。`This drink does not contain any sugar.`（この飲み物には砂糖は一切含まれていない）。他の選択肢は、①`continue`が「～を続ける」、②`contact`が「～と連絡を取る」、③`contest`が「～に異議を唱える、競争する」という意味です。

◆補足：名詞形は`container`（容器、入れ物）です。類義語の`include`は全体の一部として「含める」というニュアンス（例: `The price includes tax.` 価格は税金を含む）なのに対し、`contain`は容器の中に物理的に「入っている」というニュアンスが強いです。

25.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を熱する、温める」です。動詞の`heat`は、食べ物や液体などの温度を上げることを表します。`Heat the oil in a frying pan before adding the vegetables.`（野菜を加える前に、フライパンで油を熱してください）。①「～を打つ」は`hit`、②「～を食べる」は`eat`、③「～を隠す」は`hide`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`heat`は名詞として「熱、暑さ」という意味でも使われます。`The heat in this room is unbearable.`（この部屋の暑さには耐えられない）。`heater`は「暖房器具」のことですね。`heat up`という句動詞も「～を温める、熱する」という意味でよく使われます。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④の`available`で、「利用できる、入手できる、手が空いている」という意味の形容詞です。物やサービスが利用可能であることや、人が会ったり話したりする時間があることを示します。`Tickets are still available online.`（チケットはまだオンラインで入手可能です）。`I'm sorry, I'm not available at that time.`（申し訳ありませんが、その時間は手が空いていません）。他の選択肢は、①`valuable`が「貴重な」、②`visible`が「目に見える」、③`acceptable`が「受け入れられる」という意味です。

◆補足：名詞形は`availability`（利用できること、入手可能性）です。ビジネスの場面でアポイントメントを取る際など、`Are you available ...?`（～はご都合よろしいですか？）という形で頻繁に使われる、非常に便利な単語です。

27.

解答 ②

【解説】

正解は②「エネルギー、活力」です。`energy`は、物理的な力や動力源としての「エネルギー」と、人間が活動するための精神的・肉体的な「活力、元気、精力」の両方を意味する名詞です。`Renewable energy sources, such as solar power, are becoming more important.`（太陽光発電のような再生可能エネルギー源がより重要になってきている）。`I was so tired I didn't have the energy to cook dinner.`（私はとても疲れていて夕食を作る元気がなかった）。①「努力」は`effort`、③「運動」は`exercise`、④「環境」は`environment`です。

◆補足：形容詞形は`energetic`（精力的な、活気に満ちた）です。`He is an energetic and enthusiastic teacher.`（彼はエネルギーで熱心な先生だ）。`energy consumption`（エネルギー消費）や`energy crisis`（エネルギー危機）といったコロケーションも、社会問題を扱う文脈で重要です。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を飾る」です。`decorate`は、部屋や建物、ケーキなどを、より美しく、魅力的に見せるために「装飾する」という意味の動詞です。`They decorated the Christmas tree with colorful lights and ornaments.`（彼らはクリスマスツリーを色とりどりのライトや飾りで飾った）。①「～を宣言する」は`declare`、②「～を捧げる」は`dedicate`、④「～を減少させる」は`decrease`が適切な単語です。

◆補足：名詞形は`decoration`（装飾、飾り）です。`We put up Halloween decorations.`（私たちはハロウィーンの飾り付けをした）。インテリアを装飾する専門家は`an interior decorator`と呼ばれます。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④の`too ~ to do`構文で、「あまりに～なので…できない、～するには…すぎる」という意味です。`~`の部分には形容詞や副詞が入ります。この構文には`not`が含まれていませんが、文全体として否定的な意味になるのが大きな特徴です。`I was too tired to watch the rest of the movie.`（私はあまりに疲れていたため、その映画の残りを見るができなかった）。他の選択肢は、①と③が「とても～なので…だ」という肯定的な結果を、②が「…するほど十分に～だ」と肯定的な可能性を表します。

◆補足：`too ~ to do`構文は、`so ~ that ... can't/couldn't ...`を使って書き換えることができます。`I was so tired that I couldn't watch the rest of the movie.`は、問題の例文とほぼ同じ意味になります。この書き換えはテストで頻出する重要項目です。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「幸運にも」です。`luckily`は「運良く」という意味の副詞で、良い偶然が働いたことを示します。文頭に置いて、文全体を修飾することが多いです。`I missed the train, but luckily, there was another one in five minutes.`（私は電車に乗り遅れたが、幸運にも、5分後にもう一本あった）。②

「愛らしく」は形容詞`lovely`、③「寂しく」は形容詞`lonely`、④「生き生きと」は形容詞`lively`から派生する副詞ではなく、これらの`-ly`で終わる単語は形容詞である点に注意が必要です。

◆補足：`luckily`は、形容詞`lucky`（幸運な）に`-ly`を付けて作られた副詞です。対義語は`unluckily`（不運にも）で、前の問題で出てきた`unfortunately`とほぼ同じ意味で使えます。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①の`advertise`で、「～を広告する、宣伝する」という意味の動詞です。商品やサービス、イベントなどを、テレビ、新聞、インターネットといった媒体を使って広く一般に知らせ、人々の関心を引くことを表します。`The city is advertising itself as a great place for sightseeing.`（その市は観光に最適な場所として自らを宣伝している）。他の選択肢は、②`advise`が「～に助言する」、③`admire`が「～に感心する、～を賞賛する」、④`admit`が「～を（事実だと）認める」という意味で、いずれも`ad-`で始まりますが意味は異なります。

◆補足：名詞形は`advertisement`（広告）で、しばしば`ad`や`advert`と略されます。広告を出す人は`advertiser`（広告主）、広告業界は`the advertising industry`です。

32.

解答 ②

【解説】

正解は②の`market`で、「市場」を意味します。野菜や魚などの生鮮食料品が売買される物理的な場所（いちば）や、特定の製品が取引される抽象的な「市場（しじょう）」の両方を指します。`There is a farmers' market in the town square every Sunday.`（毎週日曜日に町の広場でファーマーズマーケットが開かれる）。`the global market`（世界市場）。他の選択肢は、①`rocket`が「ロケット」、③`pocket`が「ポケット」、④`basket`が「かご」という意味です。

◆補足：`market`は動詞として「～を市場で売る、販売促進する」という意味もあります。名詞の`marketing`（マーケティング）はビジネスで重要な概念です。`on the market`で「売りに出されて、市販されて」、`supermarket`は`super`（超越した）と`market`が組み合わさった言葉です。

33.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を我慢する」です。`put up with ~`は、「～に耐える、我慢する」という意味の重要な句動詞です。騒音、人の嫌な性格、不快な状況などを、文句を言わずに受け入れることを表します。`I don't know how she puts up with his rudeness.`（彼女がどうやって彼の無礼に我慢しているのか分からない）。①「～に追いつく」は`catch up with ~`、②「～を延期する」は`put off ~`、④「～を設置する」は`put up ~`（`with`なし）が適切な表現です。

◆補足：`put up with`は、`tolerate`や`endure`といった、よりフォーマルな動詞とほぼ同じ意味で使えます。3つの単語が組み合わさっていますが、これで一つの動詞として働きを理解することが、句動詞をマスターするコツです。

34.

解答 ②

【解説】

正解は②「適切に、ちゃんと」です。`properly`は副詞で、正しい方法や、社会的に受け入れられている方法で、物事が「きちんと、適切に」行われる様子を表します。`If the machine is not used properly, it can be dangerous.`（もしその機械が適切に使われないと、危険なことがある）。①「おそらく」は`probably`、③「個人的に」は`personally`、④「完全に」は`perfectly`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`properly`は、形容詞`proper`（適切な、ちゃんとした）に`-ly`を付けて作られた副詞です。`Please wear proper attire for the interview.`（面接には適切な服装をしてください）。`properly`は`correctly`（正しく）や`rightly`（正当に）と意味が似ていますが、状況や目的に「ふさわしい」というニュアンスが強いです。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②「～のように思われる、～のようだ」です。動詞の`seem`は、断定はできないものの、外見や状況から判断して、そうらしいという主観的な推量を表します。`He seems to be honest, but I'm not sure.`（彼は正直そうに思えるが、確信はない）。`It seems that we have taken the wrong train.`（私たちは間違った電車に乗ってしまったようだ）。①「～を意味する」は`mean`、③「～を見る」は`see`、④「～を探す」は`seek`です。

◆補足：`seem`の後には`to`不定詞や、`that`節、形容詞が続くことが多いです。`She seems tired.`（彼女は疲れているようだ）。類義語の`appear`も「～のように見える」という意味ですが、`appear`の方がより外見に基づいた客観的な判断、`seem`はより内面的な主観的判断というニュアンスの違いがあります。

36.

解答 ④

【解説】

正解は④の`try one's best`で、「最善を尽くす」という意味です。`one's`の部分には`my`, `your`, `his`などの所有格が入り、誰が最善を尽くすのかを示します。`Although we lost the game, everyone tried their best.` (試合には負けたが、全員が最善を尽くした)。他の選択肢は、①`make one's bed`が「ベッドを整える」、②`do one's homework`が「宿題をする」、③`try something new`が「何か新しいことを試す」という意味です。

◆補足：`try one's best`と`do one's best`は、どちらも「最善を尽くす」という意味で、ほぼ同じように使えます。あえてニュアンスの違いを言うと、`try`は「(最善を尽くそうと) 努力する」という過程に、`do`は「(実際に) 最善の行動をとる」という結果に、それぞれ少しだけ焦点が当たることがあります。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④「食事、食事療法、国会」です。`diet`は複数の意味を持つ名詞です。一つは「(日常の) 食事、食生活」。もう一つは、減量や健康管理のための「規定食、食事療法、ダイエット」です。さらに、日本の「国会」は英語で`the National Diet`または単に`the Diet`と大文字で表記します。①「死ぬ」は動詞の`die`、②「日記」は`diary`、③「指図する」は動詞の`direct`です。

◆補足：動詞としても`diet`は「ダイエットをする」という意味で使われます。`go on a diet`という表現は「ダイエットを始める」という意味で一般的です。コロケーションとしては`a healthy diet` (健康的な食事)、`a balanced diet` (バランスの取れた食事) などがあります。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②の`in fact`で、「実は、実際は」という意味です。前に述べたことについて、より詳しい情報や、時には少し意外な事実を付け加えるときに使う表現です。`He says he is busy, but in fact he has a lot of free time.` (彼は忙しいと言っているが、実は自由な時間がたくさんある)。他の選択肢は、①`in short`が「要するに、手短かに言えば」、③`in general`が「一般的に、概して」、④`in case`が「～の場合に備えて」という意味の、それぞれ`in`を使った重要な熟語です。

◆補足：`in fact`と似た表現に`actually`があります。どちらも「実は」と訳せますが、`in fact`は、前の発言を強調したり、訂正したりするニュアンスで使われることが多いです。`The movie was good;

in fact, it was one of the best I've ever seen.' (その映画は良かった。実際、今まで見た中で最高の映画の一つだった)。

39.

解答 ①

【解説】

正解は①「インターネット」です。`Internet`は、世界中のコンピュータネットワークを相互に接続した、巨大な情報通信網を指す固有名詞です。そのため、通常は文のどこにあっても最初の`I`を大文字で書き、`the`を付けて`the Internet`と表現するのが一般的です。②「コンピュータ」は`computer`、③「ウェブサイト」は`website`、④「電子メール」は`e-mail`で、これらは`Internet`上で利用できる技術やサービスですね。

◆補足：「インターネットで」何かをすることを表すときは、前置詞の`on`を使います。`I often buy clothes on the Internet.` (私はよくインターネットで服を買う)。`surf the Internet` (インターネットを見て回る) や `browse the Internet` (インターネットを閲覧する) といった表現もよく使われます。

40.

解答 ①

【解説】

正解は①「…だけれども」です。`although`は「…にもかかわらず、…ではあるが」という意味の接続詞で、文と文をつなぎ、逆説の関係（予想される結果とは違うことが起こる）を表します。`Although he is very rich, he is not happy.` (彼はとても裕福だけれども、幸せではない)。②「もし…でなければ」は`unless`、③「…なので」は`because`や`as`、④「…する前に」は`before`がそれぞれ適切な接続詞です。

◆補足：`although`は`though`とほぼ同じ意味で使えますが、`although`の方がよりフォーマルな響きがあります。`though`は文末に置かれることもありますが、`although`は文頭か文中に置かれます。`even though`は`although`をさらに強調した表現で、「…という事実にもかかわらず」という強い逆説を示します。

41.

解答 ③

【解説】

正解は③の`choice`で、「選択、選択肢、選ぶこと」を意味する名詞です。複数のものから一つを選ぶ行為や、その対象、あるいは選ぶ権利そのものを指します。`I had no choice but to agree.` (私には同意する以外に選択肢がなかった)。他の選択肢は、①`voice`が「声」、②`chance`が「機会、可能性」、④`noise`が「騒音」という意味です。

◆補足：`choice`は動詞`choose`（選ぶ）の名詞形です。`choose - chose - chosen`という不規則な活用も合わせて覚えましょう。`make a choice`で「選択をする、決める」という決まった言い方になります。`a wide choice of ~`で「豊富な種類の～」となります。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②「いくつかの～、たくさんの～」です。`a number of ~`は、数えられる名詞の複数形と共に使われ、`several`（いくつかの）や`many`（たくさんの）とほぼ同じ意味を表します。文脈によって「いくつかの」とも「たくさんの」とも訳されます。`There are a number of reasons for my decision.`（私の決定にはいくつかの理由がある）。①「～の数」は`the number of ~`で、`a`と`the`の違いで意味が大きく変わるため、非常に重要です。③「～の大部分」は`most of ~`、④「～の一種」は`a kind of ~`です。

◆補足：`the number of ~`と`a number of ~`の最も重要な違いは、動詞の形です。`the number of ~`は「～の総数」という単一の「数」が主語なので、動詞は単数形になります（例：`The number of tourists is ...`）。一方、`a number of ~`は「複数の～」を指すので、動詞は複数形になります（例：`A number of tourists are ...`）。この文法ルールはテストで頻出します。

43.

解答 ②

【解説】

正解は②の`effort`で、「努力、骨折り」を意味する名詞です。目標を達成するために、精神的または肉体的な力を使うことを指します。`Success is not possible without hard effort.`（懸命な努力なしに成功は不可能だ）。他の選択肢は、①`effect`が「効果、影響」、③`offer`が「申し出」や「提供する」という動詞、④`afford`が「～する余裕がある」という動詞です。

◆補足：`make an effort`で「努力する」という決まった言い方になります。`He made every effort to pass the exam.`（彼は試験に合格するためにあらゆる努力をした）。`effort`は数えられる名詞としても、数えられない名詞としても使われますが、`an effort`や`efforts`のように数えられる用法の方が一般的です。

44.

解答 ②

【解説】

正解は②の`put ~ away`で、「～を片付ける、元の場所へしまう」という意味です。使った物や散らかっている物を、本来あるべき場所（引き出し、棚、箱など）に戻すことを表します。`After reading`

the book, he put it away on the bookshelf.' (その本を読んだ後、彼はそれを本棚にしまった)。他の選択肢は、①`throw ~ away`が「～を捨てる」、③`take ~ away`が「～を持ち去る」、④`pass away`が「亡くなる」という、死を婉曲的に表す表現です。

◆補足：`put away`は、`clean up` (掃除する、きれいに片付ける) と意味が似ていますが、`put away`は特に「物があるべき場所に戻す」という点に焦点があります。目的語が代名詞の場合は`put it away`のように間に挟みます。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「面接、インタビュー」です。`interview`は、名詞として、就職や入学のための「面接」や、記者などが特定の人に行う「会見、インタビュー」を意味します。`She was nervous before her job interview.` (彼女は就職の面接の前、緊張していた)。①「会議」は`meeting`や`conference`、②「討論」は`debate`や`discussion`、③「対話」は`dialogue`が適切な単語です。

◆補足：`interview`は動詞として「～に面接する、インタビューする」という意味でも使われます。`I was interviewed by three people.` (私は3人に面接された)。面接する人は`interviewer`、される人は`interviewee`と呼ばれます。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④「～に申し込む、応募する」です。`apply for ~`は、仕事、役職、奨学金、ビザなどを得るために、公式に「～に申し込む、～に応募する」という意味で使われる熟語です。`More than 100 people applied for the position.` (100人以上がその職に応募した)。①「～に感謝する」は`be grateful for ~`、②「～に謝罪する」は`apologize for ~`、③「～に到着する」は`arrive at/in ~`が適切な表現です。

◆補足：`apply`は、後ろに続く前置詞によって意味が変わるので注意が必要です。`apply to ~`となると、「～に当てはまる、適用される」や「(大学など)に出願する」という意味になります。`This discount applies only to students.` (この割引は学生にのみ適用される)。名詞形は`application` (申し込み、応用) です。

47.

解答 ④

【解説】

正解は④の`charge`で、非常に多くの意味を持つ単語です。準2級レベルでは、名詞として「料金、請求金額」や「責任、担当」、動詞として「～（代金）を請求する」や「～を充電する」といった意味を押さえておくとい良いでしょう。名詞の例: `The charge for admission is 500 yen.`（入場料は500円です）。動詞の例: `I need to charge my phone.`（携帯電話を充電する必要がある）。他の選択肢は、

①`change`が「変化、おつり」、②`chance`が「機会」、③`chart`が「図表」という意味です。

◆補足: `in charge of`で「～を担当して」、`free of charge`で「無料で」という重要な熟語になります。クレジットカードでの支払いを`charge`することや、スポーツで「突進する」という意味もあります。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④の`sound like`で、「～のように聞こえる、～のようだ」という意味です。実際に聞こえる音や、話の内容から受けた印象について述べるときに使います。`Your voice sounds like your father's.`（あなたの声はお父さんの声に似ていますね）。`That sounds like a fun trip.`（それは楽しそうな旅行ですね）。他の選択肢は、①`look like`で「～が視覚的な印象」、②`feel like`で「～が触覚や感情」、③`seem like`で「～が総合的な推量を表します」。

◆補足: `sound like`の後ろには名詞が来ます。`That sounds great.`のように形容詞を続ける場合は`like`は不要です。この「五感動詞 + 形容詞/like + 名詞」の使い分けは、英会話の基本として非常に重要なので、セットで覚えておきましょう。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①の`familiar`で、「よく知られた、なじみのある、精通している」という意味の形容詞です。見聞きしたことがあって、よく知っている様子を表します。`This song sounds familiar. I think I've heard it before.`（この歌は聞き覚えがある。以前に聞いたことがあると思う）。他の選択肢は、②`famous`が「有名な」、③`favorite`が「お気に入りの」、④`former`が「以前の、元の」という意味です。

◆補足: `be familiar with`（～に精通している）と`be familiar to`（～によく知られている）の使い分けが重要です。`I am familiar with this software.`（私はこのソフトウェアをよく知っている）。`His name is familiar to most Japanese people.`（彼の名前はほとんどの日本人に知られている）。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②の`information`で、「情報、知識、知らせ」を意味します。事実やデータ、ニュースなど、伝えられる内容全般を指す非常に重要な単語です。`This website provides useful information for tourists.`（このウェブサイトは観光客向けの役立つ情報を提供している）。他の選択肢は、①`instruction`が「指示、取扱説明書」、③`invention`が「発明」、④`impression`が「印象」という意味です。

◆補足：`information`は、英語では数えられない名詞（不可算名詞）として扱われる代表例です。そのため、`an information`や`informations`という形にはなりません。「一つの情報」と言いたい場合は`a piece of information`のように数えます。動詞形は`inform`（～に知らせる）で、`inform 人 of/about 物事`の形で使われます。
